



発刊にあたって

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ
近江八幡市実行委員会 会長
近江八幡市長

小西 理

1981年の「びわこ国体」、「びわこ大会」以来、44年ぶりに滋賀県で開催された第79回国民スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ」及び第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ」は、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げて開催されました。

近江八幡市では、国スポ正式競技としてバレーボール(少年男子)、ハンドボール(少年男子・少年女子)、軟式野球(成年男子)、トライアスロン(成年男子・成年女子)の4競技、公開競技として綱引、デモンストレーションスポーツとしてウォーキングを実施しました。また、障スポ正式競技として、バレーボール(身体障害)を実施し、いずれの競技も盛況のうちに全日程を終えることができました。

大会期間中には、「わたSHIGAつなげる国スポ・障スポ～輝けわたしの未来プロジェクト～」として、両大会が子どもたちの可能性あふれる未来につながるきっかけとなることを目的に実施した取組の一環として、市内の小学5年生から中学2年生が競技を観戦し選手に声援を送りました。また、大会前には、応援のぼり旗や応援幕の制作に取り組み、会場を大いに盛り上げてくれました。

また、各会場においては、赤こんにゃくや近江牛など地域の特産品を用いたふるまいによるおもてなしを行い、来場者の皆様に近江八幡市の魅力を感じていただけたことと思います。大会運営にあたっては、市民の皆様や県内の中高生の皆様に競技・運営サポーターとして多大なるご協力をいただきました。安全かつ円滑に大会を終えることができましたのは、ひとえに皆様のご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

この大会報告書は、国スポ・障スポ両大会の開催状況を記録・保存し、後世へ伝えるとともに、大会を支えてくださった皆様へ実施結果と成果をご報告し、感謝の意を表すために作成したものです。多くの皆様にご高覧いただければ幸いです。

結びに、大会開催に際し、ご協力を賜りましたすべての皆様に深く感謝申し上げます、発刊にあたっての挨拶といたします。

